

企業史料協議会主催・東京大学経済学部資料室後援 ハイブリッド開催

— 企業アーカイブズとデジタルをつなぐ —

デジタル文書資料管理講座 開講案内

日々アーカイブ化される膨大な量のデジタル・コンテンツはどのように整理すればよいのでしょうか。本講座は企業の社史・アーカイブズ部門の担当者向けに、応用がきく実践的なデジタル文書資料の管理について、目録の作成や標準化、メタデータの在り方などを主なテーマとし、知的財産権についての法律論、企業事例もあわせて講義します。第5回の企業事例紹介篇では、2つの企業のアーキビストと講師陣、そして受講者も参加して、Q&Aや意見交換を行います。

入門篇 2023年1月27日(金) 13:30~16:45

第1回

講師 小島浩之(東京大学大学院経済学研究科資料室講師)

「アナログからデジタルへ — 目録・階層構造・メタデータ —」

初級篇 2023年2月9日(木) 13:30~16:45

第2回

講師 矢野正隆(東京大学大学院経済学研究科資料室助教)

「デジタル環境下における資料管理：保存・利用のための基本的な考え方と進め方」

中級篇 2023年2月10日(金) 13:30~16:45

第3回

講師 キム・ポヨン(公益財団法人渋沢栄一記念財団 デジタル・キュレーター)

「デジタル文書を記録としてアーカイブする」

法律篇 2023年3月3日(金) 13:30~16:45

第4回

講師 石岡克俊(慶應義塾大学大学院法務研究科教授/同大学産業研究所所長)

「デジタル企業資料の管理・活用と知的財産法の考え方」

企業事例紹介篇 2023年3月10日(金) 13:30~16:45

第5回

講師 土岐育子(ライオン株式会社コーポレートコミュニケーションセンター アーカイブズ室)

「文書史料の代替としてのデジタル化 ~半世紀に一度、アーカイブズ全量引越しに伴うデジタル化対応~」

講師 山田弥生(キリンホールディングス株式会社コーポレートコミュニケーション部アーカイブ室)

「活用を目指すキリンホールディングスのデジタル化の取り組み」

+ 小島浩之 矢野正隆 キム・ポヨン

会場 定員 20名

東京大学本郷キャンパス学术交流棟(小島ホール)
コンファレンスルーム 東京都文京区本郷 7-3-1

オンライン 定員 40名

Zoom ミーティング

申込受付後に招待 URL をお知らせします

受講料 【会員】 1回 7,000円・5回通し 30,000円 【一般】 1回 9,000円・5回通し 40,000円

お申込み・詳細は裏面をご覧ください

＝ 講義内容紹介 ＝

第1回・入門篇 アナログからデジタルへ - 目録・階層構造・メタデータ -

講師 小島浩之（東京大学大学院経済学研究科資料室講師）

この講義はアナログとデジタルの架け橋、さらには初級篇・中級篇・法律篇の各講座への布石となるものです。最初に資料を管理する立場から押えておくべき、アナログとデジタルのそれぞれの特性について複数の観点からアンソロジー的に概観します。さらにこれを踏まえて、目録・階層構造・メタデータに話題を絞り、同様にアナログとデジタルの場合を比較しながら問題点を探ります。

第2回・初級篇 デジタル環境下における資料管理：保存・利用のための基本的な考え方と進め方

講師 矢野正隆（東京大学大学院経済学研究科資料室助教）

入門篇の俯瞰的な見取り図を受け、デジタル環境化においてアーカイブズ資料を持続的に利用可能にするための基本的な考え方（標準など）と資料整理の進め方を、具体例を示しつつ説明します。併せて、アーカイブズ資料の特質（図書館資料・博物館資料との相違など）や資料管理における「デジタルアーカイブ」の位置づけ等の解説を通じて、中級篇への導入的な基礎知識をまとめます。

第3回・中級篇 デジタル文書を記録としてアーカイブする

講師 キム・ボヨン（公益財団法人渋沢栄一記念財団 デジタル・キュレーター）

本講義では、入門篇、初級篇に続き、デジタル文書を「記録」としてアーカイブすることについて、理論面ですらに深く掘り下げ、それが実践にどのように活かされるかについて説明します。特に、デジタル・データ／文書／記録を長期的に保存するために必要な基礎概念と、国際標準に沿って資料を整理・公開した事例を通じて、それが持つ意義について考えます。

第4回・法律篇 デジタル企業資料の管理・活用と知的財産法の考え方

講師 石岡克俊（慶應義塾大学大学院法務研究科教授／同大学産業研究所所長）

企業が日々事業活動を行うなかで生み出される経営・財務情報や内部文書、そしてさまざまなデータや多様なコンテンツ…、これらの企業資料を管理・活用していく上で必須の法的な取扱いや考え方について説明していきます。とくに、近年のデジタル化はこれらの取扱いや考え方を大きく変えてきました。こうした現状についてもお話できればと考えています。

第5回・企業事例紹介篇 2つの事例紹介と意見交換・質疑応答

「文書史料の代替としてのデジタル化 ～半世紀に一度、アーカイブズ全量引越しに伴うデジタル化対応～」

講師 土岐育子（ライオン株式会社 コーポレートコミュニケーションセンター アーカイブズ室）

本社移転に伴い、保管史料の全てを建物から出さねばならず、新本社もしくは別途確保した分室への搬出と、寄贈を含めた処分を進めています。文書史料については、できるだけ多くをデジタル化して現物は処分し減容に努めています。既存目録DBとPDF化史料を紐づけながらデジタル化を進めている現状を紹介します。

「活用を目指すキリンホールディングスのデジタル化の取組み」

講師 山田弥生（キリンホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 アーカイブズ室）

どうしたらこの資料を世に出すことができるだろうか？と考えたことから始まったデジタル化。文書資料以外にも広告、映像、写真などをデータにすることによってブランド価値向上のチャンスを得てきました。アーカイブズを活用するためにデジタル化を推進してきたキリンホールディングスの取組みをご紹介します。

意見交換・質疑応答 講師 土岐育子、山田弥生、小島浩之、矢野正隆、キム・ボヨン

デジタル文書資料管理講座 受講お申込み

第1回～5回通し、またはご希望の回を選んでお申込みいただけます。下記の申込必要事項をお書きのうえ、企業史料協議会事務局 info@baa.gr.jp へメールでお申込みください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 申込必要事項：1. 会員／一般の区別 | 2. 受講希望回（5回通し/ご希望回） |
| 3. 会場・オンラインの区別 | 4. 受講者ご氏名 |
| 5. ご所属機関名・部署名 | 6. 連絡先メールアドレスおよび電話番号 |

申込締切：【第1回・5回通し】**2023年1月20日(金)まで** 【第2回以降】**各回開催日10日前まで**

ただし各回とも定員に達し次第締め切らせていただきます。

*お申込み受付後に受付確認書と受講料の請求書PDFをお送りします。受講料は指定の銀行口座にお振込みください。

*各開催日前日までに、会場またはZoomミーティングのご案内、および講義資料をメールでお送りします。

*会場は余裕を持った広さで、新型コロナウイルス感染症に配慮しています。受講者の皆様にも、マスクの着用、人との距離をとるなど、コロナ感染対策へのご協力をお願いいたします。また発熱等の症状がある場合は参加をご遠慮ください。